

民主化闘争情報

No. 874
2013年2月7日
発行 日本鉄道労働組合連合会
(JR連合)

民主化闘争の本丸であるJR東日本において、勝田運輸区車掌・長山充伯さん(52歳)がJR東労組と決別し、2日1日付でJR東日本ユニオンに加入した。

JR東日本ユニオン水戸地本 JR東労組から組織拡大！！

長山さんは「このまま疑問を解決できずに鉄道人生を送るのは自身に納得できない」と思いを語り、勇気を持ってJR東日本ユニオンに加入した。

今日まで地道な取り組みを展開してきたJR東日本ユニオン水戸地本、そして長山さんの勇気ある決断に心から敬意を表したい。JR東日本ユニオンは「同じ気持ちを抱える良識ある多くの仲間、JR連合・JR東日本ユニオンへの総結集を呼びかけよう！」と各級機関に対する組織拡大の取り組み強化を提起している。

「民主化闘争情報No.873」で報告したように、2月1日には浦和電車区事件の被害者である吉田光晴氏が晴れてJR東京駅に着任した。今回の組織拡大を含め、JR東日本における民主化闘争は、新たな局面を迎えている。

また、貨物鉄産労における23歳と24歳の若手の加入(2月1日付)は既報の通り。JR北労組においても、昨年の大会以降11名の組織拡大を果たしており、組織拡大のうねりは全国に拡大している。民主化三単組のさらなる奮闘と、JR連合地協活動を含めた支援単組の取り組み強化を要請する。

JR総連・北鉄労新聞「ひびきVol.419号」で訂正とお詫び！ 国際運輸労連部会総会のJR総連動議の撤回、未採択を認める！

「民主化闘争情報No.872」で報告したように、昨年11月にカナダで開催されたITF(国際運輸労連)の路面運輸部会・鉄道部会総会でJR総連が提出した動議について、JR総連・北鉄労新聞「ひびきVol.417号」で動議が修正されることなく、満場一致で採択されたとの虚偽報告がなされたことに対して、JR北労組は記事の訂正と謝罪を求める公開質問状を過日提出していた。北鉄労はこれに対する回答として、「ひびきVol.419号」巻末に「記事の訂正とお詫び」を掲載し、動議に関して「路面運輸部会総会での撤回」と「鉄道部会総会でのITF本部執行部預かり」を認め、訂正した。

しかしながら、「ひびき」の編集人本人が両部会総会に出席しており、単純な誤りとは思えない。北鉄労の季刊誌「our12月号」で、「(中略)JR北労組は、数は少ないとはいえ、JR採用者を確実に増やしています。(中略)確実に民主化闘争を担う組織人であることは言うまでもありません。」と危機感を露わにしており、こうした危機感と組合員を欺き続けることを断念した北鉄労の今回の対応とは無関係ではないだろう。

加速する組織拡大！

良識あるJR総連組合員の皆さん、英断をお待ちしています。